

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 彦根市立城西小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒522-0064  
彦根市本町三丁目3番22号

E-mail : jyosei@mx.hikone.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 224 名 女子 186 名 合計 410 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、校内研究主題「世界に目を向け、豊かなつながりの中で、未来にたくましく生きる子どもの育成」をテーマに、「国際理解」「伝統文化」「環境」に視点をおき、ESD教育の推進を進めている。今年度は、ユネスコスクールとして2年目でもあり、「国際理解教育の推進」「ユネスコスクールとの交流」「地域遺産学習の充実」を重点項目とし、昨年度末に作成したESDカレンダーをもとに、各学年で取組を進めた。



## 1. 国際理解教育の推進

### ◎英語科の取組

今年度から、教育課程特例校の指定を受け、1年生から英語科学習を進めている。毎日の英語ビデオの視聴によるモジュール学習、地域人材を活用した英語学習、Hi, friends!を用いた5, 6年生の外国語活動等、子どもたちが多様な方法で、楽しく外国語に親しめるような展開を図ってきた。低学年では、外国の大学の学生との交流会を設け、簡単な挨拶や自己紹介をしたり、ビンゴゲームや日本の昔遊びを一緒にしたりした。修学旅行では、奈良公園のウォークラリーをする際に、外国の観光客の人に、「どこの国から来られたか。」「日本の文化で好きなことは何か。」など、自らが外国の人と関わる機会を設けた。

### ◎オーストラリアとのスカイプ交流

総合的な学習の時間での地域遺産学習や英語科での学習を生かして、2学期、3学期には、オーストラリア・アデレードにあるローズパークプライマリースクールとスカイプ交流を行った。1年生から6年生まで、今までの英語科の学習を生かし、彦根のことや日本の自然や文化について、写真やイラスト等を活用しながらクイズをするなど、オーストラリアの児童と交流を深めた。

## 2. ユネスコスクールとの交流

4年生児童を中心に、奈良県にある都跡小学校と交流を図った。都跡小学校4年生の児童が彦根城を訪れ、そこで「彦根城ちびっこガイド」として、総合的な学習の時間に調べたことをもとに、彦根城のひみつやよさを伝えた。また、都跡小学校へ訪問し、平城宮跡で朱雀門や大極殿等について、ウォークラリーをしながら、そのよさを説明してもらった。互いに地域に残る歴史的遺産を交流することにより、自分たちの地域のよさを改めて再認識することができた。

## 3. 地域遺産学習の充実（生活科・総合的な学習の時間を中心とした実践）

学 年	伝 統 文 化	自 然 環 境
1 年 生	季節のあそびの発展として、昔のあそび体験をし、昔から伝わる遊びのおもしろさが実感できる取組を行った。	学校や地域の公園での遊びや自然物を使った遊びを通して、季節感を味わう取組を行った。
2 年 生	「町たんけん」を通して、彦根城を中心とした校区の特徴やよさを感じ取る取組を行った。	生き物となかよしになる活動や季節をかえての町探検を実施し、季節による身の回りの生き物や町の様子のがいを感じた。また、一人一鉢での野菜作り（トマト栽培）を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもった。

3年生	校区を知る活動を通して、昔の町並みを再生する取組が行われたキャスルロード商店街について関心をもち、店調べやインタビューをしたり、自分たちにもできることについて考え、提案したりした。	校区探検から、地域にある公園の木々や芹川の自然の変化に関心をもった。 理科では、季節ごとに校内の木々や生き物の生長や変化を観察した。
4年生	彦根城について自分たちの視点で調べたり見学したりした。調べた城の特徴や工夫について、一般の観光客に分かりやすく説明するためにポスターなどにまとめ、彦根城のガイドをした。また、これをきっかけに、奈良県の都跡小学校とも、文化遺産についての交流を行った。	彦根城調べでは、歴史的な観点だけでなく、オオトックリイチゴや彦根山の木々など、彦根城周辺の自然にも目を向けるようにした。荒神山合宿の自然体験学習では、木々を使った製作、自然のなかでのウォークラリー等の取組を行った。
5年生	武具制作に由来する仏壇産業のなかの金箔押しなど、彦根で受けつがれている伝統的なものについて体験を通して調べ、伝統工芸のよさを感じるとともに、地域の歴史の深さを実感した。	フローティングスクールの取組や地域の河川と琵琶湖を調べる活動を通して、琵琶湖の生き物や水質、環境保全などは、自分たちの生活と大きく関わりがあることに気付いた。
6年生	井伊直弼公にまつわる、湖東焼き体験、茶道体験、華道体験、座禅体験、狂言発表などを通して、井伊直弼公の生き方について考え、伝統文化を受けついでいく大切さを感じた。	(理科) 空気・水・栄養などの面から、地球上の生物とヒトとのつながりを考え、環境保全に向けての意識を高め、自分にできることを提言としてまとめた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )